

校長室だより No12

2018年7月20日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津健志

「1学期ありがとうございました」

6月25日から、夏休み突入を思わせる暑い日が続き、教室に設置されたエアコンが無かったら「どうしていただろうか?」と考える、猛暑の学期末でした。

今日で1学期が終わります。様々な面からのご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。無事に終えることができました。

今年の1学期は、様々な形でボランティアの方を募り、子供たちの教育環境充実にご支援をいただきました。2年生のさつまいも、3年生の市内めぐり、4年生の環境に関わる見学という学校外に出る学習では、昨年と大きく異なる点がたくさんあり、そこには多くの外部の方々に関わっていただきました。

また、毎朝の図書館開館、毎週末の水やり、授業支援、掃除支援、登下校見守り、外国語活動など、日常的な支援により、子供たちが助かったり、環境の維持が図られたりと、よい教育環境を提供していただきました。

ここで支援はいただいてきたが、子供たちや学校からのフィードバックはどうだったか?と振り返ってみますと、不十分な点を反省しております。

学校の中に支援の手が入ってくる、学校の学びが地域の場所に広がっていく、という中で子供たちに期待している変化のひとつに、「学びの日常化」があります。

例えば、じゃがいもやさつまいもの栽培が防災公園にフィールドを移しましたことで、できれば休日や放課後に親子で様子を見に行きながら、一緒に草取りをしたり、水やりをしたり、というような、学習とは言えないけど、植物の生長と関わり合うような自然な活動に広がってほしいと思っています。草取りをしに行くのではなく、「大きくなってかな?と見に行ったら草が伸びていたから、少し抜いてきた」「また見に行って抜いておこう」というような気持ち(主体的な態度)が育ててほしいと思います。校内で育てていないから、生じる気持ちです。このような「学びの広がり」という形で、支援してくださっているの方々にお礼を伝えたいと思います。

学校の中にボランティアの方々が入ってくる、教室での勉強が学校の外のフィールドに出るの学習になっていく、この変化は加速していく一方だと考えています。

来学期も学校と保護者と地域とで話し合いながらよりよくしていきたいと思います。

「夏休み面白教室で 体験を広げてほしい・・・」

夏休み面白教室に、のべ319人の応募がありました。定員をはるかにオーバーした教室もありましたが、指導をしてくださる方にお願ひし、回数を増やし、全員が申し込んだ教室を受講できるようにしました。(もし手元に受講通知が届いていない場合は、何らかの手違いです。sakainee-e@kashiwa.ed.jpまでメールでお知らせください)

初めての試みですので、2週間の子供たちの様子をじっくりと見ていきたいと思っています。

学校HPに受講後のアンケートページを開設しますので、ご意見や感想をお寄せください。お笑い教室は4人となっており、大人の受講参観希望者の方が多い状況です。環境ワークショップも4人と、この2講座は飛び込み参加を歓迎しています。前述のメールまで受講希望をお願いいたします。

なお、登下校と暑さ対策については、安全第一とした対応をお願いいたします。午前中の安全見守りは中原町会の皆様から担当割り当てをいただきました。午後は保護者の方から1名申し出があり、交差点での見守りをお願いしています。サッカー教室受講者には、中止措置等も含めた猛暑対応文書を本日配付していますが、他の教室も少しでも体調不調の場合は無理せず欠席をさせていただきます。その場合、別日程への振り替えを行います